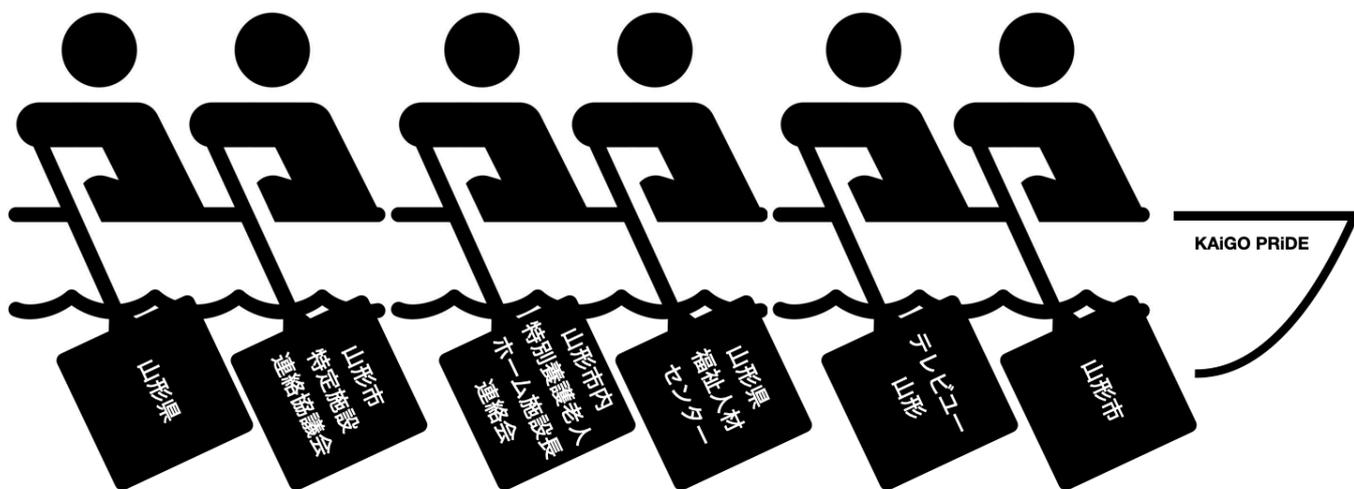


コレクティブ インパクト

## Collective Impactってナニ??

6月1日、山形市役所を会場に、当法人を含めて7団体（山形市、山形県、山形県福祉人材センター、山形市内特別用語老人ホーム施設長連絡会、山形市特定施設連絡協議会、テレビユー山形、KAiGO PRiDE）が集まり、KAiGO PRiDEプロジェクトを軸にした今年度の山形での介護魅力発信の方針が議論されました。



今回の打ち合わせはKAiGO PRiDEによる設定ではなく、山形市内特別養護老人ホーム施設長連絡会などを中心に自主的に開催されたもので、各団体による取り組みの予定が紹介された後、それを軸にした新たな協働や新しい取り組みのアイデアなどが話されました。話の中ではコンテンツ共有やDPO・広報手法等についても建設的な議論がなされ、それぞれの企画が単独のイベントとして閉じて行われるのではなく、年間を通して相互強化的により広い周知につながるようスケジュールや広報手段について自発的な議論が交わされました。

今回のように一つの課題に対してセクターを超えて取り組む手法はコレクティブ・インパクトと呼ばれています。「KAiGO PRiDE」を魅力発信の一つのツール（船）として、そこに様々な人が乗って同じ方向に向かって共に進んでいくことで複雑多様化した問題に対してより早く結果を出すことができます。この手法の根幹は、参加者が課題に対してコミット（自分事を自分事に！）というスローガンを若者に対して掲げていても、取り組む側がそうでなければ結果は中々ついて来ません。その観点において、今回の山形での取り組みは非常に先進的であり、かつ抜本的な魅力発信のためには必要不可欠な取り組みです。今後他県での実施にも期待したいです。

セクターを超えた相互強化的な取り組み。

同じ船に乗って、同じ方向に向かうことで、課題解決が加速する！

複雑化する介護の課題に対して、今、やるべきこと。

# Collective Impact

© KAiGO PRiDE

コレクティブ・インパクト (Collective Impact) とは、複雑化して一つの組織では解決が困難な社会課題（アジェンダ）に対し、企業・行政・NPO等のセクターを超えて相互強化的に取り組むことで解決を図る手法です。2011年に米ハーバード大にて提唱された手法で、貧困・災害・健康問題など様々な課題に対して用いられており、今日本でも注目を集めています。